

我が国の省庁等、政府系機関からは日々多種多様な情報が発信されます。(株)現代文化研究所はその中から広くモビリティに関する注目情報を所定期間にわたりピックアップ、テーマを設定しその切り口から関連情報を整理し、お伝えします。

【今回のテーマ/注目情報】*モニタリング期間：2020年10月1日～10月30日

「20年代における物流」の在り方について ～ 国交省が「総合物流施策大綱」検討会にて各方面の有識者から意見を聴取～

公表情報タイトル：2020年代の総合物流施策大綱に関する第4回検討会

～ 次期総合物流施策大綱の策定に向けて～

https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/seisakutokatsu_tk_000038.html

発信元：国土交通省総合政策局物流政策課他 2020年10月5日

(概要)

- ・現行の「総合物流施策大綱」は20年度が計画期間の最終年度となる。足下の物流をめぐる環境は、労働力不足の深刻化、AI等の最新技術の進化等に加え、コロナ禍影響もあり、様々な大きな変化が生じている。
- ・そのため、国交省はこれらの環境変化を織り込んだ「次期総合物流施策大綱」の策定に向け、今後の物流施策の在り方について提言を得ることを目的として、20年7月～10月までに4回の検討会を開催した(12月に提言をとりまとめ予定)。
- ・その過程で「デジタル化」、「標準化」、「働き方改革」等の論点を軸に議論を重ね、さらに関連業界・自治体・研究機関等の有識者による問題提起・提案等を織り込み、20年代の物流の目指すべき在り方の輪郭が徐々に定まりつつある。

1. 検討会における議論の3つのポイント

物流分野のデジタル化

- ・荷主・配送・顧客の連携、インターフェースの国際標準化等規格の標準化
- ・ソフト・ハード両面の標準化、官民協業による推進等働き方改革
- ・24年導入の時間外労働規制撤廃への対応等

2. 物流の在り方に関する提案例(一部)

日本経済団体連合会

- ・デジタル技術により、サプライチェーン全体を効率化・高度化し、「つながる」、「人を解放する」、「社会に貢献する」物流を実現
- 宮崎県西米良村
- ・生活者の視点に立った、地方の住民が住み続けるための施策や、交通・物流の効率化に向けた規制緩和の必要性
- 同村の具体的な取り組みとして「ホイホイ便」を紹介

(当社の視点)

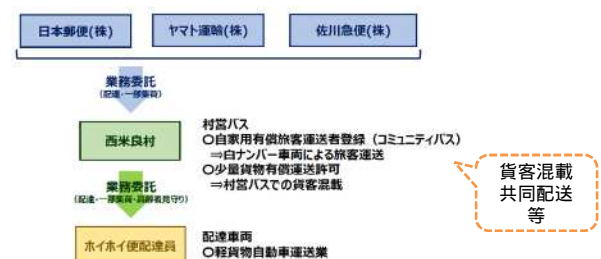
- ・検討会のポイントの1つである「デジタル化」は現行の管政権により一層の注力・加速化が見込まれる。
- ・一方、「都会・大企業」視点だけに留まらない「地方・交通弱者」視点を加味した、複眼的かつ日本の現実に根差した実効的な施策が求められる。

参考1：経団連が提案する「人を解放する物流」



出典) 経団連「物流におけるSociety 5.0 実現に向けて」

参考2：宮崎県西米良村が取り組む「ホイホイ便」



出典) 宮崎県西米良村「地方自治体として考える地方の物流と現状について」を基に当社作成

関連情報

- ・第1回2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会(20年7月16日開催)
https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000181.html
- ・第2回2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会(20年9月11日開催)
https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/seisakutokatsu_tk_000036.html
- ・第3回2020年代の総合物流施策大綱に関する有識者検討会(20年9月17日開催)
https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/seisakutokatsu_tk_000037.html

お問合せ：(株)現代文化研究所 市場戦略情報第1領域 <https://www.gendai.co.jp/inquiry>